



ひょっこり踊りで盛り上がっている様子

## 下鶴地区敬老会

10月19日、下鶴公民会で下鶴地区敬老会が行われました。本会は下鶴区（上田幸人区長）が主催、23人が参加しました。始めに、社会福祉協議会看護師の宮寄正雄さんから薬の知識に関する講話がありました。その後、サプライズゲストとして御船ひょっこり愛笑会による、ひょっこり踊りが披露され、会場は笑い声で、賑わいました。この震災の一連を下鶴区長は「共に助け合い、共に生活したあの時間は下鶴地区の宝。今後もこの経験を活かしていきたい。」と語りました。

## 町内外各地で稲刈り

10月13日、若葉保育園（本田恵美子園長・30人）と高木保育園（上村いつ子園長・14人）の年長児が福島則義さんの田んぼで稲刈り体験をしました。園児たちに稲刈りの指導をした福島さんは「いつも食べるお米のありがたさを知って、今までの体験を自分の一生の糧にしてほしい」と話しました。園児たちは、鎌を上手に使いながら、稲を刈りました。時より、稲刈り中にひょこんと大きなカエルが顔を出し、その場にいた園児たちから歓声が上がりました。



▲福島さんの指導を熱心に聞く園児たち



▲英太郎さんたちと稲刈りを楽しむ児童たち

10月14日、七滝中央小学校（大竹紳一郎校長先生・28人）の5、6年生がTKU「かたらんね米」の企画で、大津の田んぼで稲刈り体験をしました。今年は、震災の影響で地元の田んぼが被災したため、「かたらんね米」企画に応募したのがきっかけ。児童たちは、田んぼの持ち主である吉良登美雄さん（大津）から、稲刈りの指導を受け、鎌で刈ったり、コンバインを使った作業も体験しました。「かたらんね」の司会者である英太郎さんたちと笑顔で稲刈りを行い、楽しいひとときを過ごしました。



1\_刈り取った稲を運ぶ高木保育園の園児 2\_稲を刈る若葉保育園の園児  
3\_刈り取った稲を持って脱穀作業を待つ七滝中央小の児童たち



バーベキューを楽しむ参加者

## 田代東部仮設住宅で交流会

10月2日、仮設住宅入居者と地元住民との交流会が行われました。交流会では、バーベキューを上田代ばあば会が担当。有志が提供した地元の野菜や豚肉、しし肉が並び、参加者は初めて顔を合わせた人とも、楽しく交流しました。9月から仮設に住んでいる野田ゆりえさんは「交流会を通じて、初めて会う人とも仲良くなれた。これからはみんなで助け合い、生活していきたい」と今の心境を語っていました。

## 若宮神社 通し物

10月9日、若宮神社（道山弘人宮司・辺田見）で町無形民俗文化財である伝統行事「通し物」が行われました。1732年（享保17年）の御船川大洪水で流された御神体を嘉島町（犬淵）でナマズが受け止めたこと、氏子たちが行列をつくり、嘉島町まで迎えにいったことが起こりと伝えられています。若葉保育園の子ども神輿を先頭に、少女2人が和太鼓を打ち鳴らし、三味線の音色や古謡を合唱しながら、氏子や消防団員など約100名が町中心街を練り歩きました。



1・2\_商店街を歩く氏子たち 3\_神事の様子



浦安舞を披露している様子

## 四宮神社 秋の例大祭

四宮神社（松崎保邦宮司・北木倉）で10月9日、秋の例大祭が開催されました。四宮神社では、1年に1度行われており、祭祀に披露した神楽は大神楽「地鎮」「二剣」と乙女舞「豊栄舞」「浦安舞（扇・鈴）」の二部構成。浦安舞を披露した前永千佳さんは「震災で傷ついた人たちや地域のために、平和の祈り捧げる舞を」と話していました。小学生から大人までの四宮神社神楽保存会（松崎邦寿会長 他16人）による神楽が奉納され、訪れた観客を舞で魅了していました。

## 乗用草刈機贈呈式

10月25日、ヨシムタMTB（マウンテンバイク）クラブが吉無田高原緑の村に乗用草刈機の贈呈式が行われました。贈呈された草刈機はMTBの募金やチャリティーイベント、プロライダーグッズのオークションの収益金の一部で購入されたもの。「いつもマウンテンバイクのイベントでお世話になっている吉無田のために」と話す贈呈した高野欽司さん。緑の村の藤本村長は「とてもありがたい。草刈りの能率が上がり、スムーズに作業できる。大切に使用したい」と話しました。



右から緑の村藤本村長、高野欽司さん、商工観光課職員